



花見山 (はなみやま)

日本を代表する写真家故秋山庄太郎氏が「福島に桃源郷あり」と毎年訪れていた場所で、梅、ハナモモ、数種類の桜、レンギョウ、ボケ、サンシュユ、モクレンなどの花々がいっせいに咲き競う。まさに「桃源郷」の言葉がふさわしい場所。また、花木の生産場所であるため、春以外でも花を観ることができます。

写真：「御宿かわせみ」のブログより提供

# 株主の皆様へ

第43期第2四半期報告書

平成21年10月1日から平成22年3月31日まで

個人投資家の皆様へ

詳しくはホームページを  
ご覧下さい。

<http://www.asaka.co.jp>



株式会社アサカ理研

JASDAQ 証券コード：5724

## ■ トップインタビュー

### Q1. 平成22年9月期第2四半期の業績についてお聞かせください。

当期間のわが国経済は、世界各国での景気対策の影響や、新興国を中心とした景気回復を背景に、輸出や生産に持ち直しの動きが見られました。しかし、内需型企業の収益や設備投資は低迷しており、雇用情勢も改善しないことから個人消費が振るわず、全体としては、依然として厳しい状況が続きました。

当社グループの経営成績に影響を及ぼす、電子部品・デバイス工業分野の生産においては、回復基調が続いており、業種によっては、景気後退による生産の急落前の水準にまで回復してきております。また、主力製品である金をはじめとする貴金属の価格は、為替が円高で推移する中でも、比較的高い水準を維持しました。銅の価格は、急落前の水準には達しないものの、緩やかに回復してきております。

このような環境のもと、当社グループでは、年度目標である、生産効率の改善、新たな市場の開拓、新規事業の拡大、経営管理体制の強化に取り組み、企業価値の向上に努めてまいりました。

この結果、当期間の売上高は、5,500百万円（前年同期比26.6%増）となりました。営業利益、経常利益、四半期純利益はそれぞれ、140百万円（前年同期は40百万円の営業損失）、116百万円（前年同期は86百万円の経常損失）、59百万円（前年同期は194百万円の四半期純損失）と収益の回復を図ることができました。

### Q2. 今後の見通しについてどのようなお考えでしょうか。

わが国経済は、リーマンショック後の落ち込みから、徐々に回復してきておりますが、これは、景気対策や新興国の需要増に支えられているものであり、国内経済の実質の成長力は力強さを欠いていると感じています。この影響から、電子部品・デバイス工業界においても、日本国内から需要

国での生産へとシフトする動きも出てきています。

また、貴金属及び銅の価格については、比較的高い水準で推移しておりますが、需要変動や為替による影響によって、短期的には大きく変動する可能性があります。

当社グループは、取引先の多くが、電子部品・デバイス工業界に属し、売上高に占める貴金属及び銅の割合が高いことから、これらの影響を受けやすい状況にあります。そこで、中期的な経営戦略として、貴金属事業における新たな市場の開拓、環境事業における新規事業の開拓を掲げ、電子部品・デバイス工業界の生産動向や、金属相場の変動による影響を極力抑え、安定的に収益を上げられる事業ポートフォリオの構築に取り組んでいます。



代表取締役社長

山田 慶太

近年、希少資源の重要性が増し、環境保全意識が高まってきております。中長期的に見て、当社の果たす役割の重要性は、ますます大きくなっていくと考えております。今後も、株主の皆様をはじめとしたステークホルダーのご期待に沿えるよう、努力を続けてまいります。

### Q3. 配当の見通しについてお聞かせください。

当期末の配当につきまして、前期と比較し収益が回復となる見通しにあわせ、前期比1株当たり3円増配の15円を予定しております。

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、安定配当を継続的に行うことを目指しております。また配当方針は、当社が属する業界での競争に勝ち残るた

めの企業体質の強化、今後の事業展開に備えるための内部留保の充実等を勘案しながら、業績に裏付けられた成果の配分を行うことを基本方針としております。

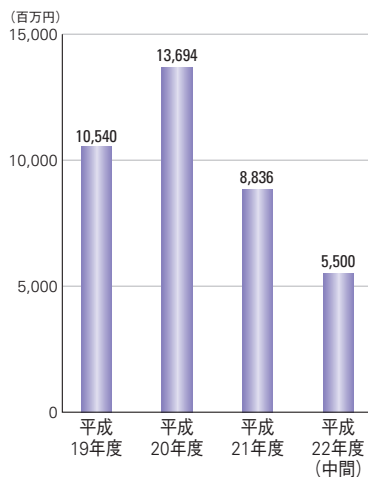
### Q4. 株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

世界経済は、リーマンショック後の深刻な金融経済不安から脱しつつあります。しかしながら、先行きの不透明感依然として高く、今後も予断を許さない状況が続くと見込んでおります。

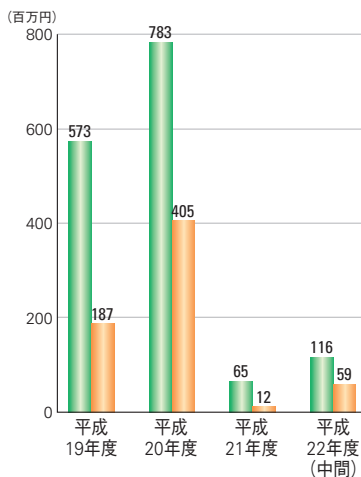
このような厳しい環境の中ではありますが、従業員一丸となって、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 売上高

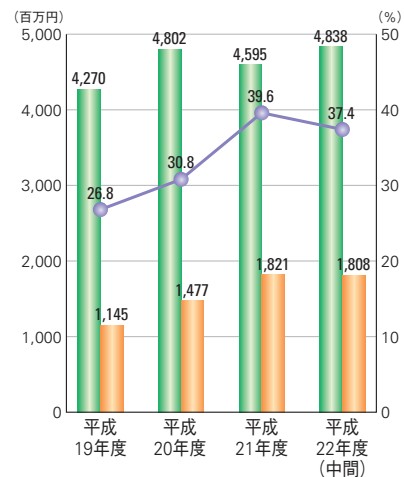


## 経常利益、 中間(当期)純利益



■ 経常利益 ■ 中間(当期)純利益

## 総資産、純資産、 自己資本比率



■ 総資産 ■ 純資産 ● 自己資本比率

## ■ 当第2四半期 連結累計期間の概況

### ■ 貴金属事業

当事業の主要なお客様が属する電子部品・デバイス工業界においては、景気後退の影響で生産数量が一時大きく落ち込みましたが、在庫調整が一巡し、輸出が持ち直してきていることなどから、生産数量は、回復基調にあります。また、主力製品である金の価格は、為替が円高で推移する中でも、比較的高い水準を維持しました。

この結果、貴金属事業全体としては、電子部品・デバイス工業界のお客様からの集荷量が増加するとともに、主要製品の販売価格がいずれも前年同期を上回ったことから、売上高は4,897百万円（前年同期比28.2%増）となりました。営業利益は、人件費及び労務費が増加したものの、売上高の増加や、コスト削減の効果等により、280百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

### ■ 環境事業

当事業の主要なお客様が属する電子回路基板業界においては、生産数量が、ピーク時に比べると依然低い水準であるものの、前年同期と比較すると回復を示しております。銅市況に連動する銅ペレットの販売価格についても、急落前の水準には達しないものの、緩やかな回復を示しました。

この結果、環境事業全体としては、エッチング液、銅ペレット等の主力製品の販売数量が増加するとともに、銅ペレットの販売価格が前年同期を上回ったことから、売上高は566百万円（前年同期比22.0%増）となりました。営業利益は、人件費及び労務費が増加したものの、売上高の増加等により、128百万円（前年同期比341.8%増）となりました。

### ■ その他の事業

システム受託開発事業においては、景気後退の影響を受け、システム開発予算の凍結や延期を行うお客様もあり、主力製品であるMr.マンモスの受注・販売が振るわず、非常に厳しい事業環境が続いております。また、運輸事業においても、事業環境は徐々に改善しつつあるものの、本格的な回復には至らず、その他の事業全体としての売上高は、126百万円（前年同期比11.3%減）となりました。営業利益は、コスト削減の効果等によって、3百万円（前年同期は33百万円の営業損失）となりました。

## ■ 第2四半期連結財務諸表

### 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期末 (平成22年3月31日)	前期末 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産	2,803	2,575
固定資産	2,034	2,020
有形固定資産	1,816	1,801
無形固定資産	31	35
投資その他の資産	186	183
資産合計	4,838	4,595
負債の部		
流動負債	2,162	1,706
固定負債	867	1,067
負債合計	3,029	2,774
純資産の部		
株主資本	1,770	1,788
資本金	504	504
資本剰余金	339	339
利益剰余金	973	944
自己株式	△46	—
評価・換算差額等	37	33
純資産合計	1,808	1,821
負債純資産合計	4,838	4,595

## 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (平成21年10月1日～ 平成22年3月31日)	前第2四半期 (平成20年10月1日～ 平成21年3月31日)
売上高	5,500	4,344
売上原価	4,761	3,795
売上総利益	738	549
販売費及び一般管理費	598	590
営業利益又は営業損失(△)	140	△40
営業外収益	13	9
営業外費用	37	56
経常利益又は経常損失(△)	116	△86
特別利益	0	31
特別損失	1	40
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	115	△96
法人税、住民税及び事業税	92	0
法人税等調整額	△36	97
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	59	△194

## 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

	当第2四半期 (平成21年10月1日～ 平成22年3月31日)	前第2四半期 (平成20年10月1日～ 平成21年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	500	△139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106	△542
財務活動によるキャッシュ・フロー	△198	804
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	195	121
現金及び現金同等物の期首残高	570	947
現金及び現金同等物の四半期末残高	765	1,068

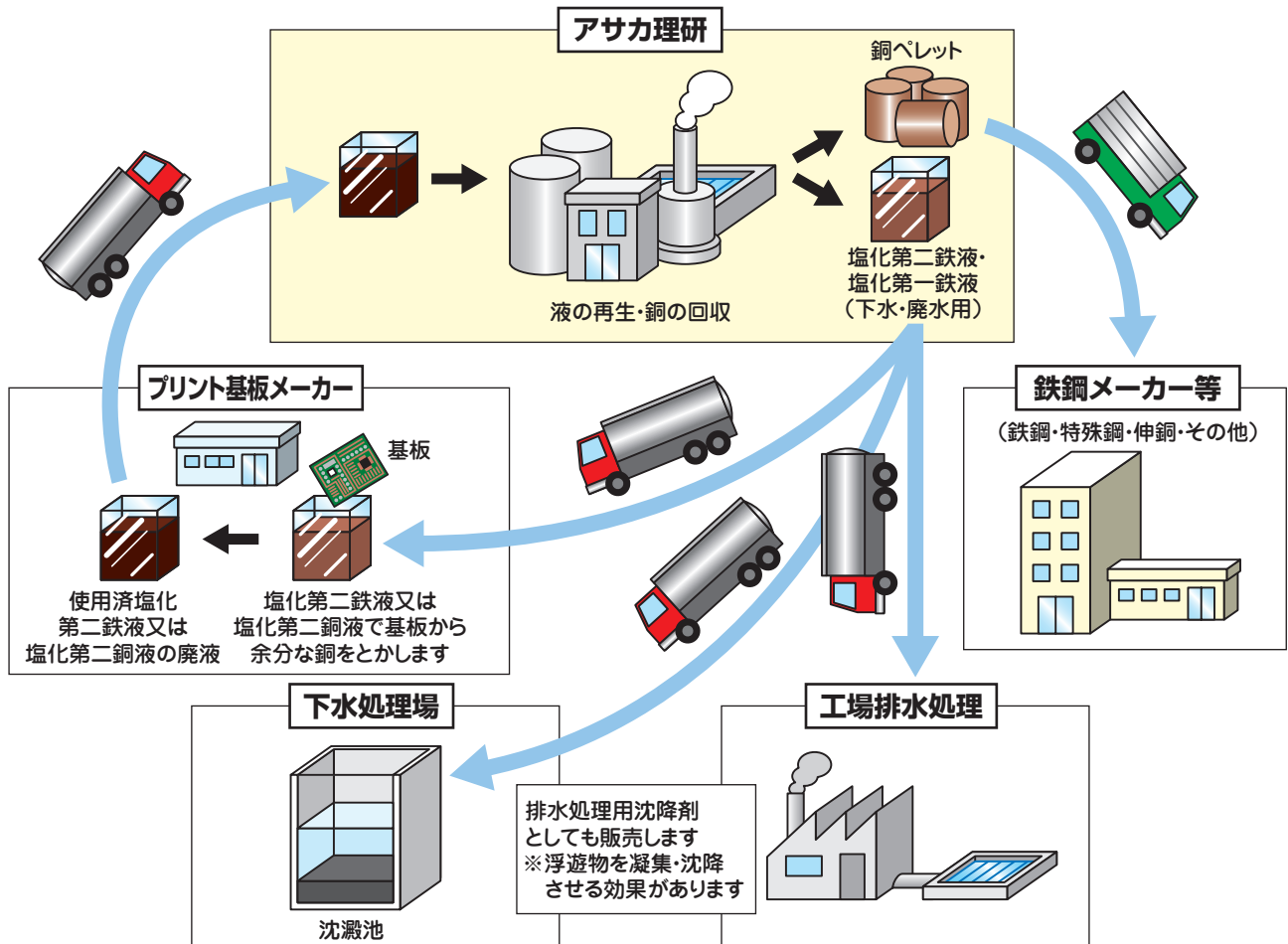
## ■ 循環型リサイクルのしくみ（環境事業編）

1960年代、リサイクルという言葉もない時代に資源の有効活用、環境保全に目を向け事業化させたのが、弊社のルーツとなる環境事業です。

創業40余年を経た現在も弊社の主力事業の1つとなっています。

当事業では、プリント基板に回路を形成するエッチング工程で使用されるエッチング用薬液（塩化第二鉄液及び塩化第二銅液）の廃液を再生し、そこに含まれる銅の回収を行っております。

お客様が廃液を処理するコストの削減に寄与するとともに、再生によって最終処分する廃棄物量が抑制され、環境負荷の低減にも貢献しています。



## ■会社概要

商号	株式会社アサカ理研
本社	〒963-0725 福島県郡山市田村町 金屋字マセロ47番地
設立年月日	昭和44年8月25日
事業内容	
①貴金属事業	金地金、銀地金、白金地金、パラジウム、貴金属回収精錬処理及び販売、各種治具の洗浄・再生、機能部品の再生及び販売
②環境事業	塩化第二鉄廃液の再生・販売、銅粉の回収、銅ペレットの製造・販売、クロムエッチング液の再生・販売、水処理事業、光触媒事業
③その他の事業	自動計測検査システム、計測ネットワークシステムの開発及び販売、工業薬品の運搬、廃液の収集運搬
資本金	504,295,600円

## ■役員

代表取締役社長	山田 慶太
取締役	吉田 隆之
取締役兼執行役員	志村 高史
取締役兼執行役員	佐久間幸雄
取締役兼執行役員	鈴木 忍
取締役	桜井 正孝
取締役	熊谷 巧
取締役	三崎 秀央
常勤監査役	大谷 勝男
監査役	遠藤 政勝
監査役	森 勝房

(注) 監査役大谷勝男氏及び遠藤政勝氏の両名は、社外監査役であります。

## ■株式の状況

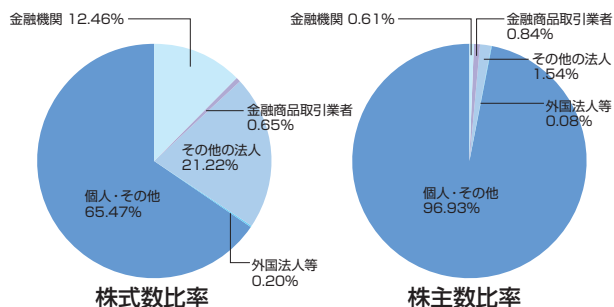
発行可能株式総数	10,200,000株
発行済株式総数	2,572,300株 (自己株式数84,500株を含む)
株主数	1,303名

## ■大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
山田 慶太	716	28.80
有限会社モラル・コーポレーション	341	13.71
アント・ブリッジ2号投資事業有限責任組合 無限責任組合員 アント・キャピタル・パートナーズ 株式会社 日興アントファクトリー株式会社	115	4.65
野村ホールディングス株式会社	100	4.02
株式会社常陽銀行	90	3.62
株式会社東邦銀行	81	3.26
山田 盛久	80	3.22
日本生命保険相互会社	72	2.91
東京中小企業投資育成株式会社	50	2.01
第一生命保険相互会社	50	2.01

(注) 当社は自己株式(84,500株)を保有しておりますが、議決権がないため上記に含めておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## ■所有者別分布状況



上記比率は、当社保有の自己株式(84,500株)を控除して計算しております。

## ■ 株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日
期末配当金受領株主確定日	9月30日
中間配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年12月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL：0120-232-711（通話料無料）
特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL：0120-49-7009（通話料無料）
上場証券取引所	大阪証券取引所・ジャスダック市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="http://www.asaka.co.jp/">http://www.asaka.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

### 1. 株券電子化によるご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、東京証券代りが口座管理機関となっておりますので、東京証券代行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## エメラルドグリーンやコバルトブルーに輝く水面は神秘的！



五色沼は、正式には五色沼湖沼群とよばれ、毘沙門沼、赤沼、みどろ沼、弁天沼、瑠璃沼、青沼などのいくつかの沼で構成されています。磐梯山の噴火口から五色沼へ流れる水により実にさまざまな青色を見せてくれます。気軽に楽しめる五色沼探勝路での散策や、毘沙門沼ではボートに乗ることもでき、これからの季節には多くの観光客でにぎわいます。

福島県の観光ならココ！

[かんたんふくしま](http://www.tif.ne.jp) で検索 <http://www.tif.ne.jp>

### 裏磐梯観光協会

福島県耶麻郡北塩原村大字松原字剣ヶ峯1093 TEL：0241-32-2349  
<http://www.urabandai-inf.com/>

うつくしま観光プロモーション推進機構（財団法人福島県観光物産交流協会 内）

福島市三河南町1番20号コラッセふくしま7階 TEL：024-525-4024  
<http://www.f-kankou.jp/>